

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	時系列での個人記録方法で日常生活内容を記録していたが、記録内容に於いて第三者的な記録となっている部分があり利用者(入居者)の場面ごとの表情や状況が不足している箇所があった。	職員間での日々のケース記録の視点を一歩前進した記載で利用者(入居者)の場面の状況が記録から伺えるような記録となるように統一を図る。	事業所独自の勉強会で、各職員の記録に関する検討を行い、場面ごとの状況が第三者にも容易に理解できるようなエピソードやコメントの記載が統一して出来るように行う。	3ヶ月
2	33	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援では、看護師の求人募集も行っているが雇用に至っていない。	現在の入居者に関しては家族からの看取り希望はないものの、今後の多様化するニーズに備え看護師の雇用、配置を行う。	求人の継続で看護師の雇用、配置を行い重度化や終末期に向けた柔軟な対応が出来る体制作りを確立する。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。